

今後も更なるアウトソーシングの推進、事務の効率化の徹底などにより、行政改革に取り組んでいただきたいと思いますと考えております。

また、財政フレームにおいて、国分寺駅北口再開発事業特別会計繰出金、国分寺駅北口地下自転車駐車場整備、都市計画道路国3・4・12号線に関わる街路用地整備、3市共同の清掃施設整備、民設民営保育所整備・運営事業など、将来にわたって必要となる政策的経費を最大限に「見える化」したことは、わかりやすくなった予算書とともに、「市民感覚の市政運営」を掲げる井澤市長の市民との情報共有を推し進めようとする姿勢が伺え、大いに評価いたします。

さらに、井澤市長の掲げる「庁内体制の整備」においては、2年続けて機構改革が実行されます。職員一人ひとりが能力を最大限に発揮できるチームワークの良い組織、そして、縦割りの弊害を排し、全庁一丸となる強固な組織の構築を、職員の人材育成と合わせ、更に取り組んでいただきたいと思います。

また、業務プロセス分析システムを先駆的に取り入れることで、正規職員、嘱託職員、臨時職員の役割分担の明確化と業務マニュアルのレベルアップと統一化を図ろうとしており、システム導入後には大きな成果が出るものと期待しております。

最後に、市制施行50周年記念の様々な事業を展開し、大いに盛り上がった昨年度の成果を礎に、市制施行100周年に向けて、更なるまちの魅力発信の事業を展開するとともに、子ども子育て施策等を推し進め、「住み続けたいまち国分寺」「魅力あるまち国分寺」「夢のあるまち国分寺」を、井澤市長のもと全職員一丸となって推し進めていただきますよう強くお願い申し上げます。

会派構成：田中政義 新海栄一 須崎宏 楠井誠 本橋巧 尾澤脩 尾作義明 村松俊武

## 市民を守る バランスのとれた予算と評価



公明党 木島 たかし (所属4名・賛成)

### 予算編成のあり方について

各課積み上げ方式による編成により、職員の責任と自覚が深まり、市長の考え方が職員に浸透しつつあると感じた。評価したい。

### 財政運営について

将来世代への負担の先送りとなる臨時財政対策債を借り入れずに公債費を減少させ、財政調整基金も約7億6千万積み増す収支均衡予算となったことを高く評価する。

### 職員の育成等、行政改革について

◎アウトソーシングを着実に進め人件費抑制に不断の努力を◎女性の管理職への積極的な登用を評価◎手話通訳のできる職員の育成・配置を公共施設マネジメントと地方公会計整備

総合管理計画は市にとって大きな取り組み。人口や高齢化動向を精査し丁寧な取り組みを。地方公会計整備は「財政の見える化」への大きな一歩と評価。着実に進めていただきたい。

### 情報システムについて

今なお主管課管理で任されているシステムが多く課題があるため、リスク管理を再度徹底する必要がある。主管課は本来業務に集中し、システム管理は専門部所が担う体制構築を。

### 国分寺駅北口再開発事業について

いよいよ再開発ビルが本格着工する重要な年。

課題となった地下自転車駐車場の問題(ラック式と機械式の比較等)は早急に整理を求めたい。

### 都市計画道路及び生活道路の整備について

北口再開発に係る国3.4.12号線や国分寺街道を中心とした国3.4.11号線の積極的対応を期待。生活道路と幹線道路を予算書上わかりやすく区分し、生活道路整備に力を入れていただきたい

### 街灯・道路照明灯のLED化推進について

コスト削減、環境の観点からもさらなる拡充を

### ぶんバスについて

「北町ルート」の本運行の予算化を評価。バス停の増設やルート変更等さらなる利便性向上を。「万葉・けやき公園ルート」は実現に努力を。

### 子育て支援策の充実について

民設民営保育所の整備等による待機児童解消への取り組みや、障がい児の支援では専門職増員を評価。学童保育所の課題にも積極的対応を。

### いじめ問題について

「いじめを絶対になくす」とのさらなる強い決意で取り組み、関係条例も一層の周知を。

### スポーツの推進について

「史跡マラソン」の継続を評価。また、スポーツの所管が市長部局に移るが庁内連携で推進を。

### 地域包括ケアシステムの構築に向けて

特定及び後期高齢者健診、がん検診の近隣市との相互乗り入れのさらなる推進を。また、認知症カフェの設置、サポーター養成講座充実を評価。今後も、初期集中支援チームや地域支援推進員の設置等、認知症施策の充実を。

### 高齢者の見守り支援について

高齢者等の孤立を防ぐために重要な事業。課題を整理し積極的な協定締結の推進を。

### 防災減災対策について

ドラッグストアとの災害協定締結に向けた取り組みと、災害時のトイレ問題への対策として、マンホールトイレの設置を評価したい。

### 通学路への防犯カメラの設置について

条例化への手続きを進め、一日も早い設置を。

### 新庁舎建設に向けての調査について

財政問題等、市民全体に大きな影響がある事業だけに、丁寧な取り組みに努めていただきたい。以上、今予算は財政健全化、まちづくり、子育て、教育、高齢者・障がい者福祉、防災や防犯対策等における課題に対応したバランスのとれた予算と評価し、賛成の立場での討論とする。

## くらし第一の市政へ、 大型開発偏重を正せ



日本共産党国分寺市議団 幸野 おさむ (所属3名・反対)

◆くらし第一の市政へ◆本予算案については、アベノミクスによる物価の高騰や消費税の増税が市民生活を苦しめる中で、くらし、福祉、子育て、教育といった分野が、どれだけ拡充されたかが最も問われている。その点で消費税が8%に引き上げられ、大きな市民の負担を伴った12億円あまりの収入の増加について、社会保障に用途が限定されているのに、拡充に使われたのが認可保育園の誘致4,100万円のみ、というのは極めて不十分だ。認可保育園に加え、特別養護老人ホームや学童保育所の増設、高齢者入浴施設の再開、奨学資金を復活させる予算への組換えを求め。一方で、介護保険料を、基準所得の方で年額15,700円引き上げるという大きな負担増も含まれている。「介護予防が大事だ」と言いながら、生きがい事業や入浴事業の復活も再開もなければ、今後3年間についても

拡充する事業が一つもないのはあまりにも無責任だ。こんな状況で、保険料だけ大幅に引き上げられる市民は不幸としか言いようがない。国民健康保険税については、この間行われた値上げ自体が市の会計操作による不当なものであり、値上げした額すべて引き下げを求め。地域福祉計画を進めるといふなら、公民館や地域センター、小中学校の校庭や体育館など、公共施設の全面有料化については地域福祉に逆行している。むしろ有料化ではなく、活動している方がたを支援する市政にこそ力を入れるべきだ。公立保育園や小学校給食の調理業務、図書館のカウンター業務などの民間委託は市の責任の後退だ。中止するよう求める。障がい者の分野では、予算案や次期3カ年の計画に、ほとんど目立った拡充策がないのが残念だ。当事者の声を反映させるよう求める。教育の分野では、小中学校のトイレの改修に踏み出したことは評価する。引き続き、特別教室のエアコンの設置や、独自の少人数学級の拡充、就学援助支給世帯の拡大、子どもの医療費の所得制限の撤廃をお願いする。若者の雇用・就労支援やブラック企業対策に加え、市役所の非正規職員の待遇改善を求める。

◆大型開発偏重の市政を改めよ◆国分寺市の市民一人あたりに使われている民生費(福祉)の額は、13年度決算において多摩26市で25位という低さだ。教育費の額は21位。一方で、市民一人あたりの土木費の額は、09年度から4位、1位、2位、1位、1位、と突出して高い状況で、市の財政を圧迫している。その原因になっているのが国分寺駅北口再開発だ。市の負担は工事費等が更に膨らみ473億円だ。しかも地下駐輪場の計画を18億円から35億円にすることは認められない。これ以上の負担は絶対に増やすな。西国分寺駅の北口についても再開発という手法はやめるよう求める。

◆まちづくりはムダづかいなく市民本位で◆代表質問で求めた3つに加え、バリアフリー基本構想の策定、ぶんバスの新規ルートの開設、生活道路の改善、さらなる住宅・マンションの耐震化・不燃化の促進を求める。公共施設の建て替えなどは、庁舎も含め、工事費が高騰している時期を避けるよう求める。

◆国分寺まつり問題◆この間、実行委員会に対し、昨年のように「出店を制限する」一方の意見だけでなく、議会の全ての意見を伝えたこと、市の関与についても、この件に関して「補助金を出す際に条件を付けることが出来る」としていたものを、「条件を付けることはない」と答弁したことは前向きの変化だ。引き続き参加と協働、情報共有をうたう自治基本条例と日本国憲法に即した対応を求め反対討論とする。

## 会派が変更になりました

所属議員：高瀬かおる・岩永康代  
変更前：国分寺・生活者ネットワーク  
変更後：無会派(国分寺・生活者ネットワーク)  
所属議員：片畑智子  
変更前：国分寺・生活者ネットワーク  
変更後：無会派

## 次の定例会開催予定

### 市議会を傍聴してみませんか

平成27年第2回定例会は、6月8日(月)から開会の予定です。  
議会はどなたでも傍聴できます。  
ぜひこの機会に市議会を傍聴していただきますようお願いいたします。  
※本会議は市役所第1庁舎3階議場で、委員会は同委員会室で、午前9時30分から開始予定です。